

## ☆県が購入費補助へ 重症心身障害者向け医療機器

岩手日報 2018.09.05

<https://www.iwate-np.co.jp/article/2018/9/5/22096>

> 県は、重度の肢体不自由と知的障害が重複する「重症心身障害者」を受け入れる病院に対し、医療機器の購入費を補助する方針を固めた。支援先は療養介護病棟を来年4月に新設する国立病院機構盛岡病院（盛岡市青山）を想定。多くの同障害者が暮らす盛岡広域は特に受け皿が不足し、将来不安を抱いた家族を支える環境整備が急がれている。

補助制度では医療的ケアを必要とする重症心身障害者向けのベッドや移動式シャワー、ナースセンターに自動で異常を知らせる装置など受け入れに必要な機器購入費に対し、2分の1を支援する方針。関連経費約5千万円を盛り込む2018年度一般会計補正予算案を13日招集の県議会9月定例会に提案する見通しだ。

現時点で支援先に想定する盛岡病院の計画では、未利用状態の空き病棟を改修し、同障害者を受け入れる療養介護病棟を院内に新設する。短期入所利用も含め40床を整備する。

重症心身障害者は重度の身体障害と知的障害が重複している障害者。15年4月1日時点で県内に588人おり、居住地は盛岡広域に43%が集中するほか、40歳以上が3分の1を占める。家族の高齢化に伴い在宅介護が困難になるケースも懸念されるが、盛岡広域で18歳以上を受け入れる施設は矢巾町のみちのく療育園（定員50人）しかない。

…などと伝えています。